ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

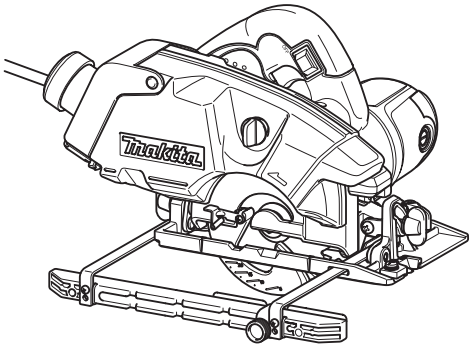
取扱説明書

100mm 防じんマルノコ

回 モデル KS4100F
（ブレーキ付）

125mm 防じんマルノコ

回 モデル KS5100F
（ブレーキ付）



回
二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。
マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは**防じんマルノコ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

目次

- 主要機能 ---- 3
- 安全上のご注意 ---- 4
- 防じんマルノコ安全上のご注意 ---- 10
- 各部の名称および標準付属品 ---- 13
- 別販売品のご紹介 ---- 14
- 使い方 ---- 15
  - ノコ刃の取り付け・取りはずし方 ---- 15
  - ダストボックスの取り付け・取りはずし方 ---- 17
  - 切り込み深さの調整 ---- 18
  - 傾斜角度の調整 ---- 18
  - トップガイド ---- 19
  - 刃先の位置 ---- 19
  - 直角切りの微調整 ---- 20
  - 平行度の微調整 ---- 21
  - 切粉の集じん ---- 21
  - 集じん機との接続 ---- 22
  - スイッチの操作 ---- 22
  - ライトの点灯 ---- 23
  - 切断方法 ---- 24
  - ガイドルールホルダ ---- 24
  - ２本ポール平行定規 ---- 25
- 別販売品の使い方 ---- 26
  - 集じん機との接続 ---- 26
  - 平行定規の使い方 ---- 27
  - ダストカバー ---- 27
- 保守・点検について ---- 28
  - カーボンブラシの点検および交換 ---- 28
  - カーボンブラシの点検 ---- 28
  - カーボンブラシの交換 ---- 28
  - 本製品のお手入れ ---- 29
  - ご修理の際は ---- 29

主要機能

モデル 主要機能	KS4100F	KS5100F
電動機	直巻整流子電動機	
電圧	単相交流 100 V	
電流	11 A	
周波数	50-60 Hz	
消費電力	1,050 W	
回転数	9,000 min^{-1}（回転 / 分）	7,000 min^{-1}（回転 / 分）
使用できる ノコ刃の外径	96 ～ 100 mm	121 ～ 125 mm
最大切り込み深さ	0°：27 mm / 45°：17 mm	0°：39 mm / 45°：25.5 mm
ノコ刃寸法	外径φ 100 mm ×内径φ 20 mm	外径φ 125 mm ×内径φ 20 mm
本製品寸法	長さ 293 mm ×幅 244 mm ×高さ 194 mm	長さ 319 mm ×幅 244 mm ×高さ 206 mm
質量	2.7 kg	2.9 kg

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

安全上のご注意

JPA001-37

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
・ 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
6. アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
・ 発火や爆発の原因になります。
7. 電動工具を湿った場所で使用することが避けられない場合、漏電しゃ断器によって保護された電源を使用してください。
8. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
・ 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

⚠警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
- 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
- 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

2. 安全保護具を使用してください。
- 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴･ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。

3. 不意な始動は避けてください。
- 電源プラグを電源コンセントに挿し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。

4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
- 本製品に収納場所がある場合は､決められた位置にしっかり固定してください。

5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

6. きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- 屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
- 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

8. 電動工具を使い慣れていても、安全性に注意して作業してください。
- 不注意な行動は、重大な障害を引き起こすおそれがあります。

電動工具の使用および手入れ

1. 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠警告

3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 本製品の調整
- 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
- 保管、または修理
- 電動工具から離れるとき
- その他危険が予想される作業

4. 使用しない電動工具は、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
- 電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。

5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
- 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
- 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
- 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。

8. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
- 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

9. ハンドルおよび保持面にオイルまたはグリスを付着させず、きれいな状態で乾燥させておいてください。
- ハンドルまたは保持面が滑ると、電動工具の安全な取り扱いまたは制御を妨げるおそれがあります。

10. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

11. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
- 理解せずに使用することは危険です。

12. 子供や本製品の操作を理解していない方には使用させないでください。
- けがの原因になります。

13. 必要に応じ、定格感度電流が 30 mA 以下の漏電しゃ断器を使用してください。

⚠警告

整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

- 本製品を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
- アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

  ＜異常・故障例＞
  - 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
  - 電源コードに深いキズや変形がある。
  - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
  - 焦げくさい臭いがする。
  - ビリビリと電気を感じる。
- スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

- 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）

4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。

- 感電の恐れがあります。

⚠警告

5. 使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの目安

- 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

コードの太さ（導体公称断面積）	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～5 A	5～10 A	10～15 A
2.0 mm^2	50 m	30 m	20 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

防じんマルノコ安全上のご注意

JPB163-5

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、防じんマルノコとして、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 安全カバーは絶対に固定したり取りはずしたりしないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
・ ノコ刃が露出したままですとけがの原因になります。
3. ノコ刃は、銘板に表示されている範囲内のものを使用してください。
・ けがの原因になります。
4. 切断する材料は、必ず安定性のよい台に置いてください。
・ 台が不安定ですと、けがの原因になります。
5. 切り落とし寸前や切断途中に、材料の重みでノコ刃がはさみつけられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
・ ノコ刃がはさみつけられると、けがの原因になります。
6. 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。また、切り落とした材料がノコ刃と接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、少なくともノコ刃の出しろの３倍以上にしてください。
・ このような台がないと、けがの原因になります。
7. 使用中は、本製品を確実に保持してください。
・ 確実に保持していないと、本製品が振れ、けがの原因になります。
8. 使用中は、工具類（ノコ刃など）や切りくずなどに手や顔などを近づけないでください。
・ けがの原因になります。
9. 切断途中で、ノコ刃を回転させたまま本製品を戻そうとすると、強い反発力が生じます。その位置でスイッチを切り、回転が完全に止まってから本製品を持ち上げるようにしてください。
10. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
11. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類（ノコ刃など）や本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
12. ジグザグ切断、曲面切り、（ガイドを使わない）斜め切り、コジリ、側面使用は絶対にしないでください。
・ これらの使用方法ではノコ刃が破損し、大けがの原因になります。

⚠注意

1. 工具類（ノコ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. ノコ刃にヒビや割れなどの異常がないことを確認してください。
・ ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
3. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を使用しないでください。
・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
4. 作業前に、人のいない方向にノコ刃を向けて空転させ、本製品の振動やノコ刃の振れなどの異常がないことを確認してください。
・ 異常があるとけがの原因になります。
5. ブレーキが働く時の反発力に注意してください。
・ 本製品を落としたりし、けがの原因になります。
6. 切断する材料の下に障害物が入っていないことを確認してください。
・ 強い反発力が生じ、けがの原因になります。
7. 材料に釘などの異物が入っていないことを確認してください。
・ 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
8. 切断しようとする材料の前方に手を置いたり、コードを材料の上に載せたまま作業しないでください。
・ 手を切ったり、コードを切断し、感電の恐れがあります。
9. 工具類（ノコ刃など）でコードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
・ 感電の恐れがあります。
10. 本製品をバイスなどで保持してノコ刃を上向きにした使い方はしないでください。
11. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っ張られたり、引っかけたりしないようにしてください。
・ 材料や本製品などを落としたときなど、事故の原因になります。
12. 本製品を作動させたまま床などに放置しないでください。
・ けがの原因になります。
13. 切断砥石を使用しないでください。
・ けがの原因になります。

注

- 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

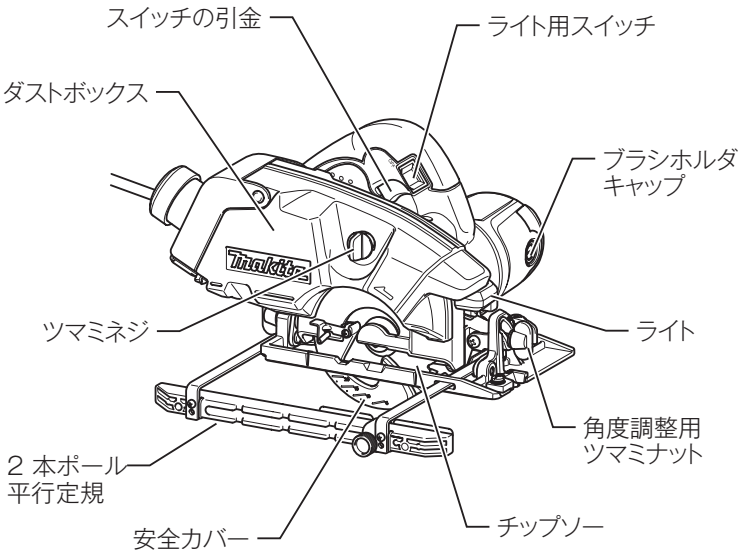
使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と最大長さの目安

コードの太さ（導体公称断面積）	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～5 A	5～7 A	―
0.75 mm^2	20 m	10 m	―

コードの太さ（導体公称断面積）	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～5 A	5～10 A	10～15 A
1.25 mm^2	30 m	15 m	10 m
2.0 mm^2	50 m	30 m	20 m

- 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

・ 六角棒レンチ 5

・ ノコ刃（チップソー）（窯業系サイディング用）
※チップソー別売のモデルをお買い上げいただいた場合は、別売りにて用意してございます。

・ 2 本ポール平行定規

・ ガイドルールホルダセット品

別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

ノコ刃（チップソーブレード）

部品番号	外径（mm）	内径（mm）	刃数	種類	
A-50011	100	20	10	硬質窯業系用	プレミアムオールダイヤチップソー
A-50027	125	20	10		
A-50049	100	20	10		オールダイヤチップソー
A-50055	125	20	10		
A-50061	100	20	16		サイディング用チップソー
A-50083	125	20	18		
A-30374	100	20	16	窯業系用	サイディング用チップソー
A-30190	125	20	18		
A-20270	125	20	20		
A-30396	100	20	30	金属系用	サイディング用チップソー
A-30209	125	20	36		
A-40923	100	20	32	石工ボード用	石工ボード用チップソー
A-40244	125	20	40		
A-49389	100	20	36		石工ボード用チップソー（薄刃）
A-49395	125	20	40		

・ ダストボックスアッセンブリ
部品番号：135271-1（KS4100F）、135272-9（KS5100F）

・ ダストカバーアッセンブリ
部品番号：135273-7（KS4100F）、135274-5（KS5100F）

ノコ刃の取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

ノコ刃の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行うと、事故の原因になります。

⚠ 注意

ノコ刃の着脱は付属の六角棒レンチ以外の工具は使わないでください。

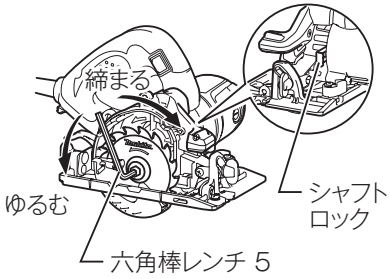
・ 締め過ぎや締め付け不足となり、けがの原因になります。

ノコ刃を取り付けるときは、本製品に付いている矢印とノコ刃に付いている矢印の方向を合わせてください。

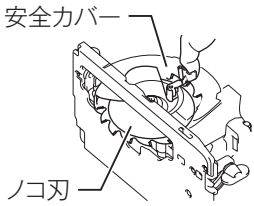
・ 矢印に合わせないと、ノコ刃の回転方向が逆となり、刃先を傷めたり、けがの原因になります。

取りはずし方

・ ダストボックスを固定しているツマミネジをはずし、ダストボックスを取りはずしてください。
・ 取りはずすときはシャフトロックを押し込み、ノコ軸の回り止めをし、六角棒レンチ 5 を使用してノコ刃を締め付けている六角穴付ボルトを左に回してはずしてください。

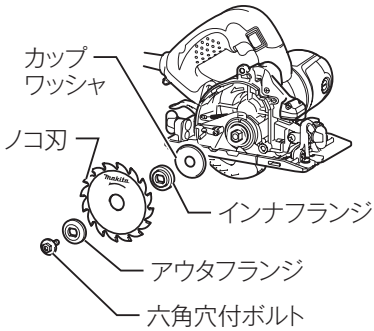


・ アウタフランジを取りはずし、手で安全カバーをいっぱいまで引き上げた状態で、ノコ刃を取りはずしてください。



取り付け方

・ 取り付けるときは、取りはずし方の逆の要領で行ってください。
・ ノコ軸にカップワッシャ→インナフランジ→ノコ刃→アウタフランジ→六角穴付ボルトの順に取り付けてください。



注

・ ノコ軸に取り付いているカップワッシャは防じん用ですので、取りはずさないでください。
・ カップワッシャは表裏がありますので凹んでいる面をノコ軸に向けて取り付けてください。

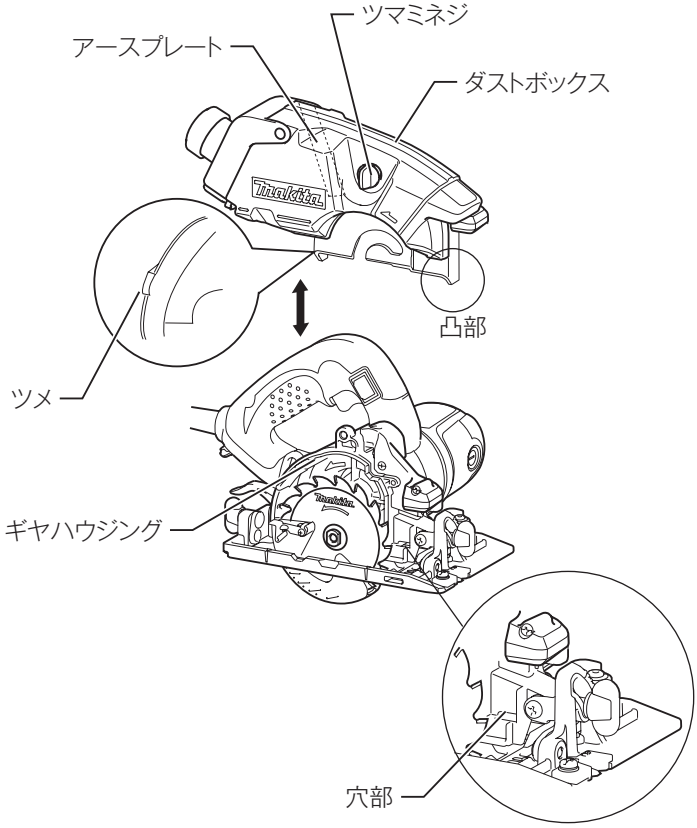
ダストボックスの取り付け・取りはずし方

取りはずし方

・ ツマミネジをゆるめてダストボックスを上へ引き上げ取りはずします。

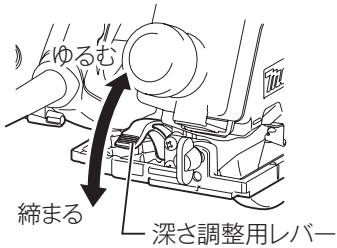
取り付け方

・ 本製品の前側はダストボックスの凸部をギヤハウジングの穴部にはめ込みます。
・ 後側はダストボックスのツメ部をギヤハウジングに引っかけるようにします。
・ アースプレートやツマミネジの引っかかりに注意しながら、図のように上からギヤハウジングに沿わせるように取り付けます。
・ ツマミネジをしっかり締め付けます。

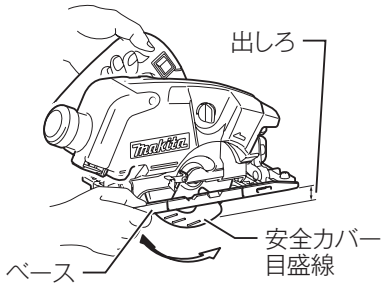


切り込み深さの調整

・ 角度調整用ツマミナット（前後2か所）がしっかり締め付けられていることを確認してください。
・ 切り込み深さ調整はレバーをゆるめて、お望みの深さにベースを上げ下げして調整してください。調整後は、レバーをしっかり締め付けてください。



・ 安全カバーには目盛が付いています。ベースとノコ刃が直角のときは、この目盛を利用して切り込み深さが調整できます。目盛線は5 mmごとに付いています。

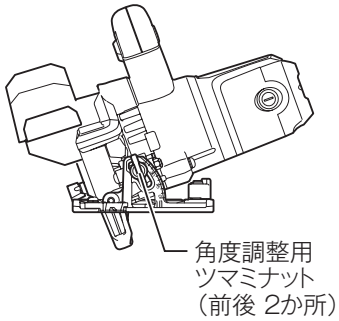


注

・ 材料が薄いときは、切り込み深さを浅くしてお使いください。
・ 本製品に付いている目盛線をベース面に合わせることでおおまかな切り込み深さに設定できます。切り込み深さを正確に調整するときは、ノコ刃の出しろを実測してください。なお、ベースとノコ刃を傾斜させているときは、この目盛線は使えません。
・ 切り込み深さ調整レバー、角度調整用ツマミナット（前後）をすべて一度にゆるめてしまうと、ベースがスムーズに上下しない場合があります。その場合は深さ調整レバーを一旦固定し、角度調整用ツマミナット（前後）を締め付けてから再度切り込み深さの調整を行ってください。

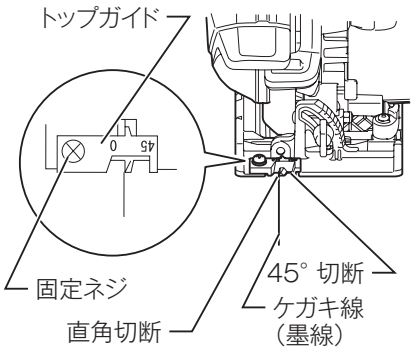
傾斜角度の調整

・ 深さ調整用レバーがしっかり締め付けられていることを確認してください。
・ 角度調整用ツマミナット（前後2か所）をゆるめて、お望みの角度（0 ～ 45 °）に本製品を傾けてください。調整後は、角度調整用ツマミナット（前後2か所）をしっかり締め付けてください。

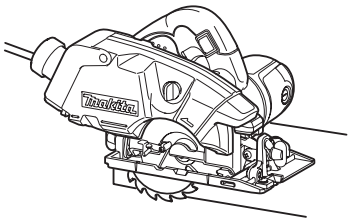


トップガイド

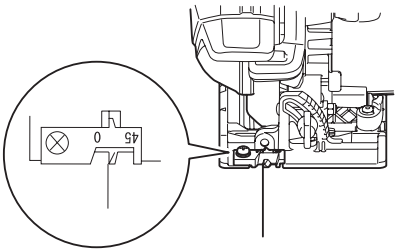
・ 直角に切断するときは、トップガイドの 0°の刻印のある方（2 か所）にケガキ線（墨線）を合わせてください。
・ 45°の傾斜切断をするときは、トップガイドの 45°の刻印のある方にケガキ線（墨線）を合わせてください。
・ 固定ネジをゆるめ、トップガイドの位置調整ができます。



・ 直角に切断する場合は、次のように行うと簡単にトップガイドとケガキ線との位置を調整することができます。
・ 本製品の傾斜を 0 ˚にします。
・ テーブル、水準器などのまっすぐな側面にノコ刃の左側面をあてます。

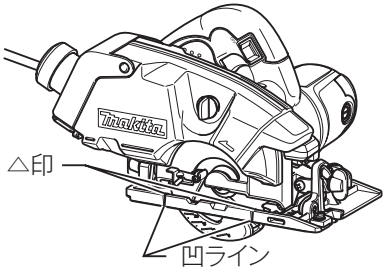


・ トップガイドの 0 ˚の刻印のある方をテーブル、水準器などの側面に合わせます。
・ 定規を利用して材料をまっすぐに切断し、材料の切断面を利用して同様の方法で合わせることもできます。



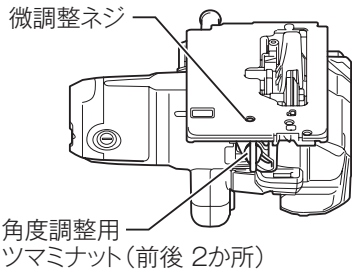
刃先の位置

・ ベースに付いている△印と凹ラインは、最大切り込み時の刃先の位置を示します。切り始め、切り終わりの刃先の位置が確認でき、材料を途中まで切断するときなどに便利です。

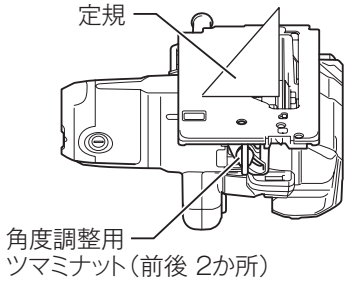


直角切りの微調整

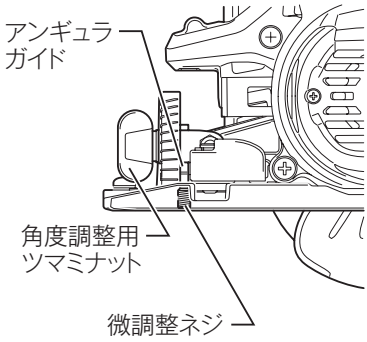
・ 本製品はノコ刃とベースの角度が正確に 90° になるように、微調整ができます。出荷時には 90° に調整してありますが、万一、角度が狂っているようでしたら、次のように調整してください。
・ 微調整ネジをゆるめておきます。
・ 角度調整用ツマミナット（前後 2 か所）をゆるめます。



・ 直角調整時はノコ刃とベースの底面に直角の出ているもの（さし金、直角定規など）を当て、直角になったところで微調整ネジをアンギュラガイドに当たるまで回します。



・ 微調整ネジをアンギュラガイドに当てた状態で左右に回し 90° に調整した後、角度調整用ツマミナット（前後 2 か所）をしっかり締め付けます。
・ 再度ノコ刃とベースの底面に直角の出ているもの（さし金、直角定規など）を当て、直角になっていることを確認してください。

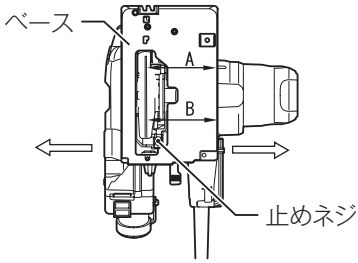


注

・ 深さ調整用レバーは締め付けた状態で微調整してください。

平行度の微調整

・ ベース側面とノコ刃の平行度を微調整できます。
・ 出荷時には平行になるように調整してありますが、万一平行度が狂った場合には次のように調整してください。



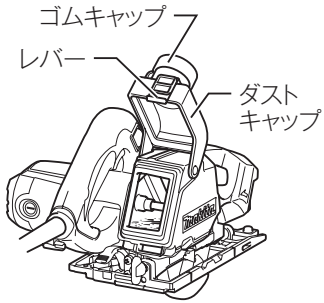
①深さ調整レバーがしっかり締め付けられていることを確認してください。
②止めネジを少しゆるめます。
③安全カバーを開けてギヤハウジングの中に引き込みます。
④ベース側面からノコ刃までの寸法 A、B が同じになるようにさし金で測りながらベース後ろ側を手で横方向に動かし調整します。
⑤調整後、止めネジをしっかり締め付けます。
⑥ベニヤ板などを試し切りして、不具合がないことを確認してください。

注

・ 深さ調整用レバー、角度調整用ツマミナットは締め付けた状態で調整してください。
・ ノコ刃の台金の部分で寸法を見てください。

切粉の集じん

・ 本製品には、切粉を集じんするダストボックスを装備しています。ダストボックス内に切粉が 2/3 程度たまりましたら切粉を捨ててください。切粉を捨てるには、ダストキャップに付いているレバーを押しダストキャップを開きます。
・ 本製品の後部を下にして切粉を捨ててください。また、ダストキャップに付いているゴムキャップをはずして、当社集じん機と接続して使用していただきますとより一層衛生的な作業ができます。

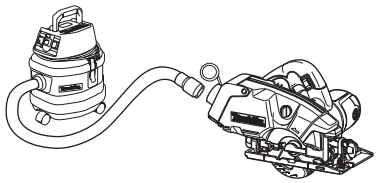


注

・ ダストボックス内に切粉が一杯になる前に早めに捨ててください。

集じん機との接続

・ 本製品集じん口に当社集じん機を接続して使用いただきますと衛生的に作業をすることができます。
・ 図のようにホルダ（別販売品）を利用すると、コードを集じん機ホースに沿わせた状態で作業することができます。
・ 各種集じん機との接続方法は26ページを参照してください。



スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

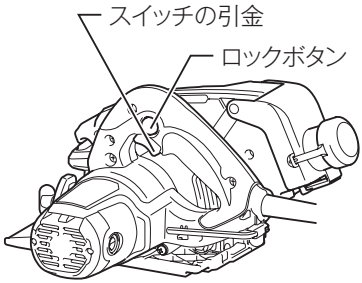
・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと、急に動きだし事故の原因になります。

⚠ 注意

本製品はスイッチを切ると同時にブレーキがかかります。ブレーキがかかると反発力が発生しますので、本製品をしっかり保持してください。

・ 本製品を落としたりして、けがの原因になります。

・ スイッチは引金を引くと入り、放すと切れます。スイッチの引金を引いてからロックボタンを押し込むと、引金を放しても引金が固定され連続運転します。停止させるには、もう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから引金を放してください。

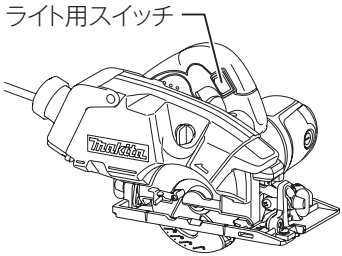


ライトの点灯

⚠ 注意

ライトの光を直接のぞきこんだり、目に当てないでください。
・ ライトの光が連続して目に当たると、目をいためる原因になります。

・ ハンドル上部のライト用スイッチの「I」(ON) 側を押すとライトが点灯し、「O」(OFF) 側を押すと消灯します。



注

・ ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布などで拭き取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、照度低下の原因になります。
・ ライトレンズ掃除の際はガソリン、シンナーなどで拭かないでください。レンズを傷めます。

切断方法

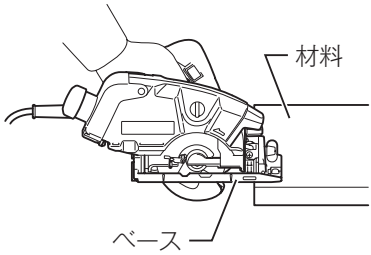
⚠ 警告

切断中に本製品をこじたり強く押し過ぎたりしないでください。
・ モータに無理がかかるばかりでなく強い反発力を生じ、けがの原因になります。

ダイヤモンドホイールを使用するときは、ダイヤモンドホイールにヒビ割れなどの異常がないことを確認してください。
・ 異常があると、ダイヤモンドホイールが破壊し、けがの原因になります。

水をかけて使用しないでください。
・ 本製品内に水が侵入し、感電の恐れがあります。

・ 材料の上にベースをのせ、ノコ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れ、ベースを材料に密着させ、ケガキ線（墨線）に合わせてください。
・ 本製品をしっかり保持し、ノコ刃の回転が完全に上昇し安定したら、そのまま静かに前方へ進め、切り終わるまでこの状態を保ってください。



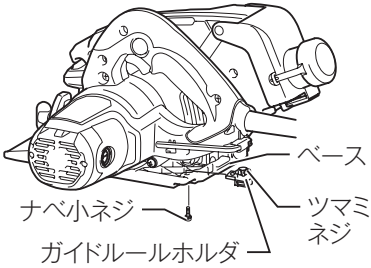
注

ダイヤモンドホイールを使用されるときは、次の点にご注意ください。
・ ダイヤモンドホイールの切れ味が悪くなったときは、ブロックや使用済みの砥石など組織の粗い材料を切断し、ドレッシング（目出し）をしてください。

金属サイディングを切断するときは、次の点にご注意ください。
・ 金属側を下側にして切断してください。上側にすると表面のバリが大きくなります。
・ 切り落とし側の幅を 20 mm 以上とるようにしてください。20 mm 以下ですと表面のまくれが大きくなります。

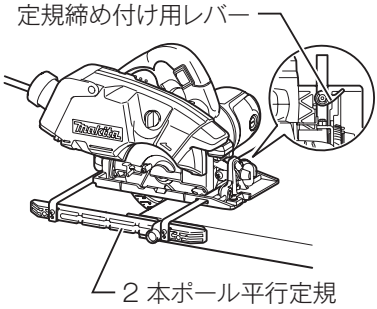
ガイドルールホルダ

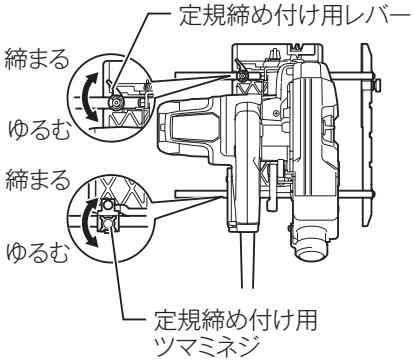
・ ガイドルールホルダをベースに取り付け、2 本ポール平行定規を使用してください。

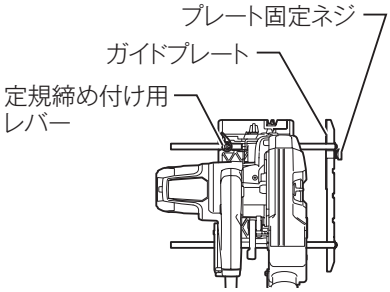


2 本ポール平行定規

・ ガイドルールホルダを取り付けます。
・ 2 本ポール平行定規を取り付けるときは、ベースの前後にある定規取り付け口に定規を差し込み、定規のガイドプレートを材料の側面にピッタリと付けて、レバーとツマミネジでしっかり締め付けてください。平行定規は右側、左側どちらからでも取り付けができます。このときガイドプレートは前側に移動し、プレート固定ネジをしっかり締め付けてください。

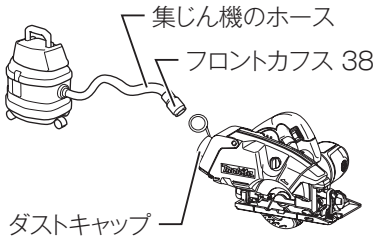




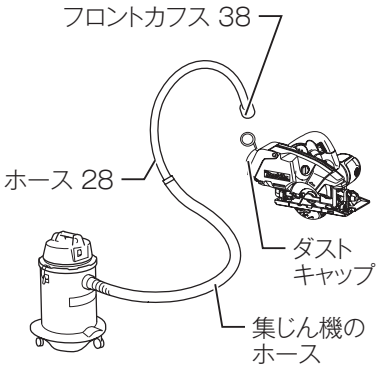


集じん機との接続

・ 通常のカフス使用時は、ホースジョイント 22-28 は使用しません。フロントカフス 38 が直接使用できます。



・ ホースを延長して接続する場合は、集じん機付属のホースにホース 28（別販売品）を延長し、本製品のダストキャップに差し込んでご使用ください。



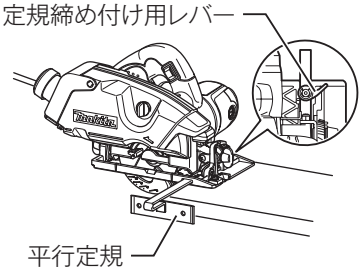
注

・ ホース 28（別販売品）には工具接続用にフロントカフス 22 と 38 を同梱しています。工具の集じん口サイズに合ったカフスを取り付けてご使用ください。

別販売品の使い方

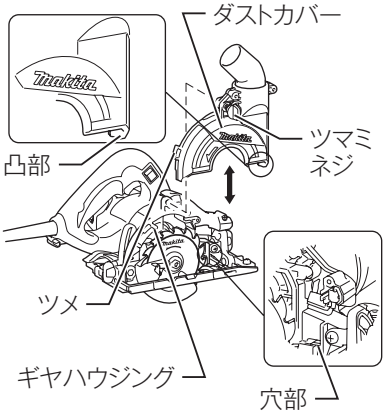
平行定規の使い方

・ 平行定規は一定の幅で切断したいときに使用してください。
・ 平行定規を取り付けるときは、ベースの前部にある定規取り付け口に定規を差し込み、定規の側面を材料の側面にピッタリと付けて、レバーでしっかり締め付けてください。



ダストカバー

・ 本製品はダストボックスをダストカバーに付け替えることができます。
・ ツマミネジをゆるめ、ダストボックスをはずします。
・ 本製品の前側はダストカバーの凸部をギヤハウジングの穴部にはめ込みます。
・ 後側はダストカバーのツメ部をギヤハウジングに引っかけるようにします。
・ ツマミネジの引っかかりに注意しながら図のように上からギヤハウジングに沿わせるように取り付けます。
・ ツマミネジをしっかり締め付けます。



保守・点検について

カーボンブラシの点検および交換

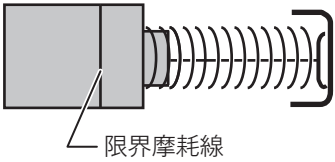
⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行うと、感電や事故の原因になります。

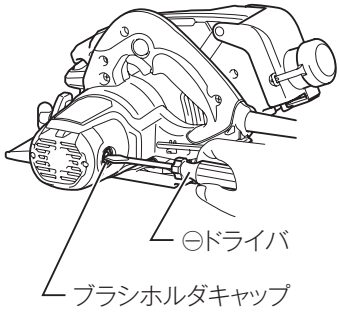
カーボンブラシの点検

・ カーボンブラシは定期的に取りはずして点検してください。
・ カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。



カーボンブラシの交換

・ ⊖ドライバでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。カーボンブラシは２個で１組になっております。取り替えるときは、必ず両側とも同時に行ってください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。



注

・ **新品と交換の際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。指定以外のカーボンブラシを使用しますとブレーキがかからないことがあります。**

保守・点検について

本製品のお手入れ

・ 乾いた布か薄めた中性洗剤をつけた布できれいに拭いてください。

注

・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

メモ

メモ

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）

882426C6
IWT